

「廃棄物とアスベスト— どこが問題か?—」

日時 9月18日(土) 午後2:00~4:00
場所 江東区亀戸7-10-1 Zビル4階
ひらの亀戸ひまわり診療所・会議室
主催 石綿対策全国連絡会議 中皮腫・じん肺・アスベストセンター
共催 2004年世界アスベスト東京会議組織委員会
参加費 無料
連絡先 03(5627)6007 (中皮腫・じん肺・アスベストセンター)

わが国のアスベスト問題をあぶりだそうと試みた連続シンポジウム「これからが本番 アスベスト対策」は第4回を散えました。公共施設にいまだにある吹付けアスベスト、対策の遅れたアスベスト含有建材問題、阪神淡路大震災の貴重な教訓と、アスベスト問題は被災者の増加とともにこれからの問題であることがひしひしと伝わってきます。アスベスト建材はさらに廃棄物となって粉じんをばら撒いている現実があります。第4回目のシンポジウムは、この問題に焦点を当て、廃棄物となったアスベストの現状を報告してもらおうシンポジウムです。問題の所在、有効な対策等について皆さんと考えていきたいと思えます。

- ① アスベスト含有建材の処理、廃石綿とは、熔融処理の実情
大越慶二氏(環境コンサルタント)
- ② アスベストとPRTR、阪神淡路大震災時のアスベスト廃棄物
中地重晴氏(環境監視研究所)
- ③ 横須賀スレート撤去工事、廃棄物処分場の報告、
ミッドウェイとアスベスト廃棄物
西田隆重氏(神奈川労災職業病センター)

コーディネーター 永倉冬史氏を予定しています。